

東京医科歯科大学医学部附属病院長寿・健康人生推進センター規則

平成26年12月26日
規則第143号

(趣旨)

第1条 東京医科歯科大学医学部附属病院長寿・健康人生推進センター（以下「センター」という。）については、東京医科歯科大学医学部附属病院規則（平成16年規則第106号）に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

(目的)

第2条 センターは、医学部附属病院長（以下「病院長」という。）の管理の下に、中央診療施設として院内診療各科及び学内関係組織と連携し、急速な高齢化社会の進行に対応すべく、健康寿命の維持と延伸のため、医歯学・スポーツ科学・遺伝子解析等の本学の強みを融合し、生活習慣や遺伝子背景を基礎として、食生活・心と体の健康・歯の健康などの一次予防を含めた予防医学を実践する。また、将来の医療を考え、次世代の医療の実践や人材養成を可能とする教育・研究を行うことを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、次の各号に掲げる業務を行う。

- (1) 先端的健診の実施
- (2) 個別化生活指導およびセカンドオピニオンの実施
- (3) 次世代医療の教育・研究
- (4) その他センターの目的を達成するために必要な業務

(職員及び職務)

第4条 センターに、次の職員を置く。

- (1) センター長
 - (2) 副センター長
 - (3) その他必要な教職員
- 2 センター長及び副センター長は、大学院医歯学総合研究科医歯学専攻（医学系）又は本院に属する教授、准教授、講師（特任教員を含む）若しくは医療技術職員をもって充てる。ただし、病院長が認める場合にはその限りではない。
- 3 センター長は、病院長の命を受け、センターの管理運営に当たる。
- 4 副センター長は、センター長の職務を補佐する。
- 5 その他必要な教職員は、センター長の命を受け、業務を分掌する。

(選考)

- 第5条 センター長及び副センター長の選考は、医学部附属病院運営会議（以下「病院運営会議」という。）の議を経て、病院長が決定する。
- 2 センター長及び副センター長の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、センター長及び副センター長の任期の末日は、当該センター長及び副センター長を任命する病院長の任期の末日以前とする。
- 3 病院長は、センター長及び副センター長がその職務を十分に果たさず、病院運営に重大な支障をきたす場合には、病院運営会議の議を経て解任することができる。

- 4 センター長又は副センター長が任期途中で欠けた場合の後任のセンター長及び副センター長の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 定年退職日が第2項の規定による任期の末日前であるセンター長及び副センター長の任期は、第2項の規定にかかわらず、当該定年退職日までとする。
- 6 前項の適用を受けた者の後任のセンター長及び副センター長の任期は、前任者に同項の規定の適用がないものとした場合の残任期間とする。
- 7 前条第1項に掲げる職員のうち、センター長又は副センター長について、医療職員本給表（一）を適用する者を充てる場合は、国立大学法人東京医科歯科大学医療技術職員の役職に関する要項（平成25年制定）を適用するものとする。

（雑則）

第6条 センターの運営等について、必要がある場合には、病院運営検討委員会において審議する。

2 この規則に定めるもののほか、センターの業務の実施に関し必要な事項は、別に定める。

（その他）

第7条 この規則の改廃は、病院運営会議の議を経るものとする。

附 則

この規則は、平成27年1月1日から施行する。

附 則（平成28年3月24日規則第47号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（平成30年9月20日規則第86号）

この規則は、平成30年9月20日から施行し、平成30年9月1日から適用する。